

12月17日 アイゼントレ（白坂）

中田 繁男

山名	アイゼントレ（白坂）+リトル比良1/2		山行名	12月例会		
ルート	JR近江高島駅→大炊神社→白坂→岳山→白坂→JR近江高島駅→京都駅					
山行日	2023年12月17日（日）		天候	曇のち晴れ		
参加者	リーダー：土岐 サブリーダー：中田 川田（弘）、岡本、徳田、山本、山田、中村、宮内、安倉、木田、高山 合計：12名（内、初心者登山教室の修了者2名）					
	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	京田辺市	集		岳山	着	12：10
		発	6：28		発	12：18
	京都駅	着		白坂	着	13：41
		発	7：24		発	
	JR近江高島駅	着	8：23	大炊神社	着	14：00
		発	8：40		発	14：08
	大炊神社	着	9：05	JR近江高島駅	着	14：28
		発	9：27		発	15：23
白坂：昼食	着	10：15		着		
	発	11：30		発		
<p>山行報告</p> <p>今年度の恒例の無雪期アイゼントレーニングを実施しました。天候は暖冬から真冬の気温に変わり風が強く天気予報Cでしたので、余りテンションは上がってない状況の中CLのTさんががんばってくれました。まずは大炊神社で持参のアイゼンを説明です。「4本爪、8本爪、10本爪、12本爪、」の他、チェーンアイゼン紹介しました。初心者が使いやすいのはチェーンアイゼンで雪山登山は12本爪がお勧めです。私が持参したアイゼン6種類は各々に分けて試して頂きます。SLが先頭に白坂を目指して、足元のシダが多い中を滑りやすいぬかるんだ登山道を進み、賽の河原を過ぎて白い山が見えてきた。初めてのメンバーも多く白い台地に歓声上がる。こんなところまでできるの？広場でアイゼンの装着に一苦労！色んなタイプがあり上手くできない方も四苦八苦しながらも準備完了。Tさんを先頭にまずはアイゼン無で登攀経験、2回位の登り下りで「怖い、ウワー」色んな感想が聞こえた。次にアイゼンを着けて登攀開始した。「怖い、怖い」が聞こえずドンドン上の高所位置まで登り始めた。今日は他の労山メンバーが練習していないので、山友会の貸し切り状態で、練習がドンドンすすんできます。何回も高い所から低い峰まで下り、斜面の足の置き方、歩き方、ストック、ピッケルの使い方、詳細に渡り労山教室の研修内容を伝授して頂き、レベルの高いトレーニングでした。早めの昼食を終えてシダの繁茂するなか岩場を越えて岳山に着いた。そのころから粉雪も舞い始め寒い！雪雲が覆い始め急いでピストンで大炊神社に帰ってきました。神社の前の川でアイゼンを洗って頂き雪山にチャレンジをアピールして解散しました。お疲れ様でした。</p>						
ヒヤリハット なし						

## 感想文

川田 弘

なかなか使う機会のなかったアイゼンのトレーニングがあることを知り、参加しました。私は 8 本爪を使用しましたが、アイゼンの威力は凄いですね。また、アイゼンを付けての歩き方も教えていただきいい経験になりました。少し寒かったですが、天候に恵まれ岳山にも登ることができました。参加の皆さん、お世話になりありがとうございました。

安倉 稔行

昨日までの暖かい日から急転、今冬一番の寒さの中、近江高島駅(89m)から大炊神社でアイゼンについて簡単な説明を受け、歩くこと1時間白坂に到着、どういう訳かここだけ白くハゲた斜面になっています。

斜面の歩き方をC.L.Tよりレクチャーいただき、まずはアイゼンを付けずに坂を上りました。上りは大丈夫でしたが、下り滑り易く慎重に慎重に下りました。これを3、4回往復し、次はアイゼンを装着してトレーニングです。4~12本爪まで様々で私の借りた4本爪は先端に爪がないので何も付けないよりはましですが、安心して登れません。下りでも同じ。これを4回往復し11時から食事、今度はリュックを担いで上り下り。休んだため太ももがだるくて目茶苦茶しんどいではないですか。11:45 アイゼンをはずし岳山への登山道に。左右から裏白のシダが登山道を覆い隠し前日の雨で水溜まりがあったり段差も桁外れ(私からすると)の高さがありよじ登りながらです。先頭Nさんの速さに付いて行けず12:45に頂上岳山(だけやま561m)の観音菩薩祠前に到着。頂上は木々が茂って遠望はできず、記撮、雪が舞ってきました。12:55下山、快速で白坂に13:30、記撮、速攻下山14:00大炊神社に到着、電車が14:21みんな急いで駅へ向かいましたが300m手前で電車に間に合わず、次の15:20まで駅で待合となりました。今回参加してアイゼンの重要性、選び方や歩き方のコツを教えていただき、これで雪山にもいけるかなあ。みなさん、ありがとうございました。



